

# きょうりつ 便り

健康ひと言アドバイス

家庭でできる食中毒予防をしっかりと実践しよう!

Voice あなたの声を生かし隊

外構設備について

お仕事カルテ

救急センター

ご近所ドクター

城谷内科医院

Vol.21

2017.6.

Summer

<http://www.hiroshimairyō.or.jp>

夏号

メディカル最前線

## ご存知ですか? 「総合診療科」

広島共立病院 内科・総合診療科 鷹屋 直



### 総合診療科とは

全国各地の総合病院で近年増えてきている総合診療科をご存知ですか?

病院によっては、総合内科、総合診療部とも

呼ばれています。この総合診療科とは、“身近にあって、何でも相談にのってくれる総合的な医療”=プライマリ・ケアを基本としています。「軽いめまいがするけど、貧血か、更年期なのか」「突然熱が出たけど、何が原因かよくわからない」など、こうした日常的にある健康問題に対して最初に対応するのが総合診療科です。

これまで日本では、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、耳鼻科、婦人科など、部門の専門化・細分化により、医療の高度化や技術の向上がなされてきました。しかし、近年、地域によっては医師不足が深刻化。また、超高齢社会の進行によって、“なんでも診られる医師”の「総合診療医」の存在意義は年々大きくなってきています。



### 広島共立病院の総合診療科、はじまる

広島共立病院でも、2017年4月から総合診療科を開設し、内科系の初診の患者さんの対応をさせていただきます。

広島共立病院では、“なんでも診られる医師”として、「どうしたらいいんだろう」と不安を抱える患者さんの思いをくみ取り、問題解決にあたる“一般の病気を上手に診る科”を目指しています。

総合診療は一人ではできません。広島共立病院の総合診療科の医師は、まとめ役です。「いくつもの病院をまわっても原因がわからない」患者さんや「複数の病気を抱える」患者さんなどの第1次治療の窓口役を担うのはもちろん、他科の専門医の先生方や看護師、薬剤師、栄養士、リハビリなどスタッフ全員と情報を共有しながら、病院全体で患者さんを診させていただきます。



また、地域の開業医さんと連携をとりながら、通いやすい、話しやすいなど、患者さんにとってよりよい選択ができるようにも努めていきます。

# 救急センター

広島共立病院の業務内容を紹介する「お仕事カルテ」。救急・内視鏡センターに勤務する寺本 利枝看護師が、救急センターについて紹介します。



## 地域医療の核となるべく さまざまな患者さんの受け入れを

救急センターは、病気やケガなど救急車で来院された方をはじめ、近くの医療機関からの紹介など24時間患者さんの診療を行っています。また、昨年「循環器ホットライン」を開設し、循環器疾患の相談、緊急治療が迅速に対応できるようになりました。心臓カテーテルなどの緊急検査が必要な場合、循環器医師をはじめ、検査を担当する手術センターの看護師、放射線技師、臨床工学技士も加わり対応します。また、救急センター内には救命に必要な器材等が整っています。



## 迅速かつ安全、 適切な対応を行うためのチーム医療

救急搬送された方の受け入れに際しては、救急隊員を含めたチーム医療がスタートします。そして来院された患者さんへの治療は、医師、看護師をはじめ多職種が対応します。入院治療が必要な場合は緊急入院のため病棟と連携をとり

ます。救急センターでの治療で帰宅できる場合、帰宅後気をつけていただきたいことを説明し、不安な気持ちが軽減できるように対応します。

救急センターでは、迅速かつ安全、適切な治療、看護が常に求められているため、専門的な知識、技術等向上のため継続的に研修等を行っています。そして、患者さんをはじめ、一緒に来院された方にもきめ細やかな対応ができるよう心がけています。



地域医療に役立つ病院をめざし、スタッフ同一丸となり、今後も救急医療に取り組んでいきます。



救急・内視鏡センター 看護師  
寺本 利枝

## ／ こんにちは！ ／ ご近所ドクター

広島共立病院では、地域の開業医ドクターと連携しながら患者さんをサポートしています。

思いやりをモットーとした、  
地域密着のホームドクター **城谷内科医院**

院長／城谷 良文 先生

〒731-0141 広島県広島市安佐南区相田2-4-19

TEL.082-878-8426

- 診療科……………内科・小児科・呼吸器内科・アレルギー科
- 外来受付時間… 8:30～12:00、16:00～18:00
- 休診日……………日曜日、祝祭日、木曜・土曜の午後



### Q. 城谷内科医院の特徴は？

A. 当院は、昭和43年に先代が開業し、平成20年から私が院長として引き継ぎ、親子2代で地域密着のホームドクターとして治療に努めています。歴史が長いので、患者さんは親子3代にわたる方が多いのも当院の特徴です。

### Q. 診察時に心がけておられることは？

A. 病気だけでなく、その“人”を診ることを心がけています。地域的にも高齢者が多いので介護の面も含めて、いかに平穏な暮らしができるかご家族とお話するなど、生活全体のバックアップができればと考えています。

### Q. 広島共立病院との連携は？

A. 検査の対応が迅速で、重症の患者さんも快く引き受けてくださるので助かっています。今後も紹介状だけのやり取りだけでなく、先生方とコミュニケーションを取りながらより良い治療につなげていけたらと考えています。

# 家庭でできる食中毒予防を しっかり実践しよう!

## 食中毒の原因は何?

細菌やウイルス、自然毒(キノコ、フグなどが作る毒素)を食べることにより、嘔吐、下痢、発熱などの症状が出る食中毒。ノロウイルスなど、ウイルス性のものは冬に流行し、6月～9月にかけては、高温多湿を好む細菌性の食中毒が増える傾向にあります。また最近ではスイセンやイヌサフランなどの野草による食中毒が増えてきています。

## 家庭でできる食中毒の予防方法は?

まずは、手洗いの徹底です。帰宅時はもちろん、調理の下準備の前後、調理に移る前にもしっかり手洗いをするなど、こまめに洗うことが大切です。

食中毒を防ぐ3つの原則は「つけない＝洗う」「増やさない＝低温で保存」「やっつける＝加熱処理(75度で1分以上)です。



詳しくは、厚生労働省のHPにある

「食中毒予防の6つのポイント」をチェックしてください。

<http://www1.mhlw.go.jp/houdou/0903/h0331-1.html>

## 特徴的なチェックポイントを紹介します。

- 1 食品の購入**…購入後は寄り道せずまっすぐ帰宅
- 2 家庭での保存**…肉や魚は汁がもれないように保存
- 3 下準備**…タオルやふきは常に清潔なものを使う
- 4 調理**…加熱調理はしっかり火を通す(75度以上で1分以上)
- 5 食事**…調理したものを長時間室温に放置しない
- 6 残った食品**…もったいないと思っても、ちょっとでも怪しいと思ったら捨てる

## 食中毒になってしまったら

まずは手洗いをしっかりしましょう。脱水状態に注意してしっかり水分を補給。すぐに吐いてしまうようなら、病院で点滴を受けましょう。便に血が混じっている場合は、早めに病院にかかるようにしてください。



## 家族が食中毒になったら

この場合も、まずは手洗いを徹底しましょう。小さなお子さんがいるご家庭では、いろんなところに触れることが考えられるので、塩素系漂白剤で拭き掃除をするといいでしょう。洗濯は、食中毒になった人の着ていたものは一旦熱湯消毒を。その後は、家族一緒に洗濯機で洗っても大丈夫です。



お弁当は熱いままフタをしてはいけません。湿気がこもり細菌を繁殖させてしまうので、冷めてから閉めましょう。保冷バックや保冷材を有効に活用してください。

感染管理認定看護師  
山下 典恵



Voice

## あなたの声をいかし隊

「声の箱」などにお寄せいただいた患者さんのご意見をもとに、改善したことを紹介します。

外構設備について

もっと歩きやすく。広島共立病院の周辺環境を見直しています。

今年もまた、うっとうしい梅雨の季節がやってきました。雨は降らないと困りますが、毎日続くと傘をさして足元が悪い中、外出するのは嫌だな～と思われる方も多いことでしょう。そこで今回は、天候の悪い中でも、広島共立病院に足を運んでいただく患者さんのため、改善した外構設備についてご紹介します。

患者さんから「雨の日は、広島共立病院から処方箋をもらってドレミ薬局へ行く途中、道路に大きな水たまりができて歩きづらい」という声をいただき、道路に接する敷地内にレインシューター(排水設備)を設置しました。水たまりが解消されたことで、「歩きやすくなった」と喜びの声をいただいています。



## HMネット 診察情報開示カードをご存知ですか？

広島共立病院では、あなたの診療情報を、かかりつけの医院と共有できる「診察情報開示カード」を無料で発行しています。

「診察情報開示カード」は、広島県と広島県医師会が運営する広島医療情報ネットワーク、通称「HMネット」によって構築された厳密なプライバシー保護がなされたシステムです。

●メリットは……

- 1: 検査や投薬の重複を防ぎ、肉体的、経済的な負担を軽減。
- 2: 薬剤禁忌やアレルギー情報なども共有できるため安全性が高まる。
- 3: 画像フィルム、資料の持ち運びが不要。
- 4: 複数医療機関の治療方針などが一致するため、安心して診療を受けられる。

紹介状を持っての来院の際は、ぜひご加入ください。詳しくは、1階受付窓口でお尋ねください。

この旗と  
キャラクターが  
目印!



## 地域まるごと健康づくり「健康教室」を開催しました

2017年2月25日

### 「尿漏れケアをはじめませんか」

竹田 麻衣子 氏

(広島共立病院 皮膚排泄ケア認定看護師)

尿失禁にはさまざまな原因や種類があり、程度によっては生活の質を低下させてしまう病気です。今回はその対策について学習しました。排尿日誌や膀胱訓練、骨盤底筋体操について紹介され、実際に体を動かしながらポイントを学びました。



2017年3月25日

### 「口から食べる喜びをいつまでも」

中尾 加代子 氏

(広島共立病院 摂食嚥下障害看護認定看護師)

食べることは人生の喜びのひとつ、生きる意欲にもつながります。また食べ物を噛む事で脳を活性化し唾液の分泌を促し全身に良い影響を与えます。年を重ねると徐々に飲み込みが難しくなってきます。誤嚥を防ぐための様々な工夫や嚥下体操、唾液腺のマッサージ方法など学び、実りある研修でした。



2017年4月22日

### 「あなたにもできる!急変対応」

中村 紀子 氏

(広島共立病院 集中ケア認定看護師)

急変時には、時間の経過で救命の可能性が低下します。しかし、その場に居合わせた人の応急手当によって、けがや病気の悪化を防ぎ救命のチャンスが高めることができます。今回は急変時を想定し、心肺蘇生の手順・AEDの使用手順等を学習しました。



## お知らせ

「健康教室」は当院や地域の医療従事者、「いきいき★健康倶楽部」は当院スタッフが講師となり、地域の皆様の健康づくりをサポートします。事前申し込み不要、どなたでも参加できます。お気軽にお問い合わせください。

## 地域まるごと健康づくり「健康教室」

開催場所 / 安佐南区総合福祉センター [広島市安佐南区中須1丁目38番13号]

- 2017年6月24日(土) 14:00~15:30  
「健康づくりと健診の役割(仮)」  
●講師：広島共立病院 健診センター長 青木 克明 医師
- 2017年7月22日(土) 14:00~15:30  
「お口の健康アドバイス(仮)」  
●講師：安佐歯科医師会 歯科医師
- 2017年8月26日(土) 14:00~15:30  
「肝炎について(仮)」  
●講師：高陽ニュータウン病院 副病院長 高橋 祥一 先生

## 「いきいき★健康倶楽部」のご案内

開催場所 / 広島共立病院

- 2017年6月22日(木) 14:00~14:45  
「気になる検査データ…この検査は何のため?(仮)」  
●講師：広島共立病院 検査技師
- 2017年8月24日(木) 14:00~14:45  
「健康寿命をのばす『食の心得』(仮)」  
●講師：広島共立病院 栄養士

お問い合わせ先 / 広島共立病院 地域連携室 ☎082-879-1111(代)

### 理念

患者の人権を尊重した安全・安心で信頼される医療を実践します

### 基本方針

1. 常に医療水準の向上に努め、質の高い医療を提供します。
2. 患者・住民との共同の営みをすすめ、無差別・平等の医療をおこないます。
3. 地域での、保健・医療・福祉のネットワークづくりに貢献します。
4. 職員教育を重視し、いきいきと成長する専門職を育てます。
5. 平和をつくり、社会保障を守り発展させる活動を強めます。



アクセス ●JR可部線大町駅より 徒歩 約5分  
●中須バス停より 徒歩 約3分  
●アストラムライン古市駅より 徒歩 約5分

アストラムライン上安駅・大町駅、フジグラン緑井店前より無料送迎バスを運行  
※赤矢印は午前7時~9時は進入禁止です。



広島医療生活協同組合

## 広島共立病院

〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20

TEL.082-879-1111(代)

E-mail ☒ kyoritsu@hiroshimairyō.or.jp

